

地域医療支援病院等の医療提供体制 上の位置づけに関する研究： H30年度研究概要

研究代表者 伏見 清秀（東京医科歯科大学）

H29年度研究について

病床機能報告,地域医療支援病院業務報告データ,厚生局公表の医療施設データ,DPC公開データ等をリンケージし、地域医療支援病院分析用データベースを作成し、下記の通り地域医療支援病院の実態に関する分析を実施した

- 地域医療支援病院の基礎分析
病床数,所在二次医療圏,開設主体等
- 地域医療支援病院の要件に係る部分についての分析
紹介/逆紹介率,初診患者数,救急患者数,共同利用・研修の実績等
- 地域医療支援病院と非該当病院,二次医療圏内でのシェア(地域医療支援病院・特定機能病院・その他の三群比較)の比較
新規入棟患者数,退棟/退院患者数,手術総数,救急車受入件数,レセ件数
- 病床100床あたりのスタッフ配置の集計
看護師,退院調整部門
- 都道府県別の集計
退棟先,退院後の在宅医療

H29年度研究の結果の概要

- 地域医療支援病院は400～500床規模の病院が多く、紹介率・逆紹介率はともに60～70%程度となっていた。
- 地域医療支援病院の手術状況は、その他病院よりも実施件数が多く、「全身麻酔手術」、「胸腔鏡手術」、「腹腔鏡下手術」のいずれの術式においても多くの手術を実施していた。
- 二次医療圏別のシェアをみると、地域医療支援病院は限られた施設数ながらも、患者数、手術数、救急数ともに高い医療圏が複数存在していた。
- 人口10～20万人をカバーするエリアに位置する地域医療支援病院が211病院と最も多く、地域医療支援病院の82.1%が～30万人のエリアに所在している。
- 地域医療支援病院は一定の高度な医療を提供していることが推察された。
- 承認要件(紹介率,逆紹介率,救急搬入患者数,共同利用実施、研修実施)の実施に関する相関は殆ど確認できなかった。

H30年度研究について

H29年度：地域医療支援病院の実態把握のための量的分析



H30年度：都道府県/地域医療支援病院に対する意識調査並びに地域分析

1. 都道府県,医療機関に対する質問紙調査の実施

H29年度の調査並びに現行の各種統計等で入手できない、自治体・地域医療支援病院の地域医療支援病院のあり方に関する意識調査を実施する

2. 地域医療支援病院に対する地域分析

地域医療支援病院は、二次医療圏毎の偏在が課題となっているが、その偏在の要因については実証的な分析が行われておらず明らかとなっていない。地域医療支援病院の承認を申請に関する医療機関の行動を規定する要因の一つとして、地域性（地域の人口規模、高齢化率、病床数、競争状況等）が考えられる。そこで本分析では、公表済みの各種調査資料を用いて、地域性（人口、医療資源等）に関する情報を加え、地理統計解析を行い、地域医療支援病院の承認に影響を与える要因を明らかにすることを目的とする。

質問紙調査の概要

□自治体調査

地域医療支援病院の承認に関する各自治体の対応・意識の実態調査を行う。承認の地域差、承認への取組状況、要件を満たさなくなった場合の対応等について各自治体の違いを明らかにする。

調査対象：全都道府県の地域医療支援病院の承認を担当する部局

調査方法：アンケート調査（悉皆調査）,電子調査票

□医療機関調査

地域医療支援病院の診療実績のばらつきが指摘されているが、特に救急医療、夜間休日対応、在宅医療への支援、医師派遣、地域医療との連携に焦点を当て、既存データで把握できていない内容について実態を明らかにする。

調査対象：全国の地域医療支援病院

調査方法：アンケート調査（悉皆調査）,電子調査票

☆調査票骨子案は別添

地域分析について

□DPC調査や病床機能報告等のオープンデータに基づく医療機関情報に、病院までの自動車による移動時間や人口の情報を加えた地域の医療提供体制に関わる統合データベースを構築して、

□地域医療支援病院の地域における位置づけ

□地域医療支援病院の指定状況と2次医療圏の特性との関連性

について、地理統計解析を含む視点からの分析を行う。

□分析に際しては、地域医療支援病院の地域への貢献状況についての定量的な指標群を設定し、全国の2次医療圏を人口・人口密度・年齢構成などに基づいて類型化し、検討を行う。

□分析の結果については、都道府県等で容易に活用できるよう、BIツールなどを用いた「見える化」を進める。

参考資料：地域医療支援病院における 紹介率別（3区分）による実績比較

基本情報

A：紹介率 80%以上

B：紹介率 65%以上 逆紹介率 40%以上

C：紹介率 50%以上 逆紹介率 70%以上

※いずれにも該当しない場合（誤記、未入力等）は集計対象外

	A	B	C
施設数	31	96	76
病床数（一般病床）	15,663	51,652	38,383
病床数（一般病床・平均）	505	538	505
延べ在棟患者数（年・平均）	155,014	162,656	144,934
新規入棟患者数（年・平均）	15,497	15,272	14,252
手術総数（年・平均）	483	496	464

分析用データベースを基に作成

参考資料：人口カバー率による地域医療支援病院の分類比較

解析対象は約500病院

項目	～10万	～20万	～30万	～40万	～50万	50万以上	総計
施設数	67	211	126	55	15	18	492
病床総数	24,105	91,771	61,446	26,078	7,784	8,476	219,660
平均_病床総数	360	435	488	474	519	471	446
平均_DPC算定病床割合	90.1%	92.1%	94.6%	94.9%	96.8%	96.3%	93.1%
平均_在院日数	13.3	12.8	12.3	12.0	12.3	11.3	12.6
平均_救急車による搬送の率	17.1%	17.9%	16.8%	16.6%	18.1%	14.8%	17.3%
平均_救急車による搬送_1カ月当たりの数	87.0	120.6	133.7	130.2	155.6	130.1	121.9
平均_患者構成の指標	1.02	1.02	1.00	0.98	1.02	0.95	1.01
平均_在院日数の指標	1.01	1.05	1.06	1.07	1.07	1.09	1.05
平均_DPC出現種類数	790	911	989	997	1,079	977	932
平均_DPC出現種類数_割合	27.5%	31.7%	34.4%	34.7%	37.6%	34.0%	32.4%
平均_手術有割合	43.5%	44.8%	45.6%	46.8%	44.9%	46.3%	45.1%
平均_化学療法有割合	7.4%	7.4%	7.3%	7.0%	7.9%	8.0%	7.4%
平均_放射線療法有割合	0.83%	0.86%	0.96%	0.90%	0.78%	0.91%	0.88%
平均_救急車搬送有割合	16.9%	17.7%	16.6%	16.3%	17.8%	14.6%	17.0%
平均_いずれか有割合	61.8%	63.5%	63.8%	64.2%	64.4%	63.9%	63.5%
平均_全身麻酔割合	18.5%	20.0%	19.7%	20.3%	20.0%	19.8%	19.7%

病院票調査骨子案

SA：シングルアンサー FA：フリーアンサー MA：マルチアンサー

時点：平成 30 年 10 月 1 日現在

【設問 1. 開設者について】

No.	設問	形式
1-1	開設者	SA

【設問 2. 病床数について】

No.	設問	形式
2-1	許可病床数	数値

【設問 3. 紹介率、逆紹介率について】

No.	設問	形式
3-1	紹介率、逆紹介率	数値

【設問 4. 救急車の受け入れおよび救急外来受診者について】

No.	設問	形式
4-1	救急車の要請 救急車搬入述べ患者/うち休日または夜間/うち入院件数/救急車を断った件数（期間：平成 30 年 9 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日）	数値
4-2	救急車を断った理由（期間：平成 30 年 9 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日）	MA
4-3	救急外来受診者数 休日または夜間/うち入院件数期間：平成 30 年 9 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日）	数値
4-4	診療科別救急車受け入れ件数期間：平成 30 年 9 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日）	数値
4-5	診療科別休日夜間に救急車以外で受診した患者数期間：平成 30 年 9 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日）	数値
4-6	診療科別夜間の救急医療の対応可否	SA
4-7	診療科別休日の救急医療の対応可否	SA

【設問 5. 夜間休日診療の人員体制について】

No.	設問	形式
5-1	休日・夜間に救急医療に従事する実人数（医師／研修医／看護師／放射線技師／臨床検査技師／薬剤師）	数値
5-2	夜間の検査実施の対応可否（血液検査／単純 X 線／CT／MRI）	SA
5-3	休日の検査実施の対応可否（血液検査／単純 X 線／CT／MRI）	SA

【設問 6. 在宅医療に関する取組について】

No.	設問	形式
6-1	在宅療養支援病院の届出の有無	SA
6-1-1	往診又は訪問診療の実施状況期間：平成 30 年 9 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日）	数値
6-2	在宅療養後方支援病院の届出の有無	SA
6-2-1	後方支援の提携をしている医療機関の数	数値
6-3	在宅療養患者の入院受入状況（期間：平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日の 1 年間）	数値

【設問 7. 医師派遣の実施と専門医の要請状況について】

No.	設問	形式
7-1	へき地医療拠点病院の指定の有無	SA
7-2	巡回診療の実施の有無	SA
7-2-1	巡回診療の実施状況	数値
7-3	医師派遣の実施の有無（期間：平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日の 1 年間）	SA
7-3-1	医師派遣の実施状況（期間：平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日の 1 年間）	数値
7-4	代診医派遣の実施の有無（期間：平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日の 1 年間）	SA
7-4-1	代診医派遣の実施状況（期間：平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日の 1 年間）	数値
7-5	地域の医師からの技術的相談に応じる体制の有無	SA
7-5-1	体制があった場合の具体例	FA
7-6	専門医の養成状況(診療科別/基幹連携施設/採用人数/初期研修医数)	数値

【設問 8. 地域との連携について】

No.	設問	形式
8-1	退院時共同指導や合同カンファの実施	数値
8-2	連携先の施設数	数値
8-3	勉強会や講座の開催回数（期間：平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日の 1 年間）	数値

【設問 9. 共同利用について】

No.	設問	形式
9-1	C T 及び MRI の共同利用の実施状況	数値
9-2	協同利用の登録医療機関数	数値

【設問 10. 自由記述欄】

No.	設問	形式
10	地域医療を支えるために行なっている独自の取り組み等	FA

以上

自治体票調査骨子案

SA：シングルアンサー FA：フリーアンサー MA：マルチアンサー

時点：平成 30 年 10 月 1 日現在

【設問 1. 二次医療圏ごとの承認について】

No.	設問	形式
1-1	承認数に関する目安や取り決めの有無	SA
1-2	承認の際に考慮している条件	MA
1-3	現在の承認要件以外の重要な機能として考慮している項目の有無	SA
		FA
1-4	二次医療圏単位での地域医療支援病院の分布状況	SA
1-4-1	同じ圏域に候補となる病院の有無	SA
1-4-1-1	候補となる病院に対する働きかけの実施状況	SA
1-4-1-1-1	情報提供以外の働きかけの具体的内容	FA
1-4-1-1-2	情報提供した内容	MA
1-4-1-1-3	候補となる病院からの申請状況	SA
1-4-1-1-4	候補となる病院が申請を出さない理由の把握状況	SA
1-4-1-1-4-1	候補となる病院が申請を出さない理由	MA
1-4-1-1-4-2	候補となる病院に対する働きかけたものの、申請には至らなかった理由	MA

【設問 2. 承認された地域医療支援病院のフォローアップについて】

No.	設問	形式
2-1	業務報告書以外の確認の実施状況	SA
2-2	承認要件を満たしていない地域医療支援病院の有無	SA
2-2-1	承認要件を満たしていない地域医療支援病院の割合	数値
2-2-2	二年以内の改善計画の提出の有無	SA
2-2-3	ヒアリングや立入検査の実施状況	SA
2-2-3-1	ヒアリングの実施方法	MA
2-2-3-2	ヒアリングを実施した背景	SA
		FA
2-2-3-3	立入検査において確認した具体的内容	FA
2-2-3-4	改善計画の実施状況	MA
2-3	地域医療支援病院の承認取消の実施状況	SA
2-3-1	承認取消の経緯	FA
2-3-2	承認取消該当病院の再承認の有無	SA
2-3-3	再承認の経緯	FA

【設問 3. 地域医療支援病院に県の医療行政として期待する役割】

No.	設問	形式
3-1	期待する役割（上位 5 つ）	MA

【設問 4. 自由記述欄】

No.	設問	形式
4-1	地域医療支援病院に期待する病院像	FA
4-2	地域医療支援病院の承認に係る運用制度上の課題や要望等	FA

以上